

計画の基本的方針

1 基本的な視点

計画の策定にあたり、以下の9つの視点を基本とします。

- 子どもの視点
- 次代の親づくりという視点
- サービス利用者の視点
- 社会全体による支援の視点
- すべての子どもと家庭への支援の視点
- 地域における社会資源の効果的な活用の視点
- サービスの質の視点
- 地域特性の視点
- 教育の視点



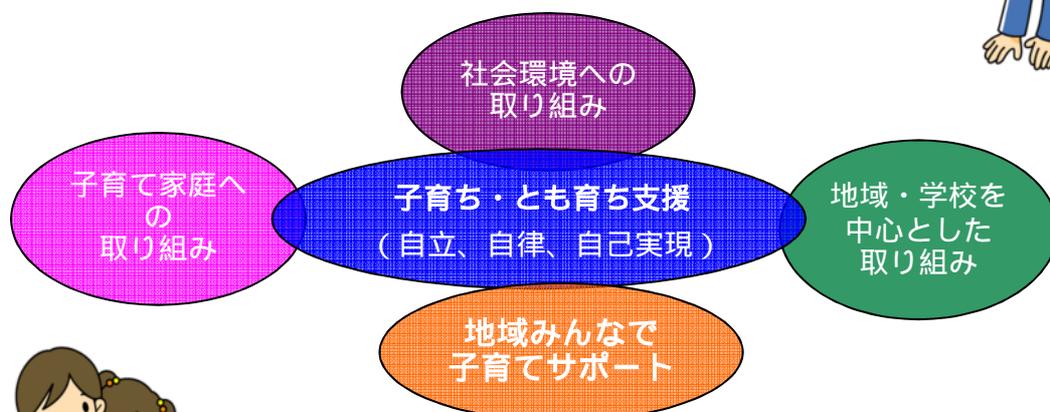
2 基本理念・基本目標

明日を担う子どもたちが、こころ豊かで健やかに育つことが、我が国の将来の社会を発展させるための大きな原動力となります。そのためにも子どもたちを社会全体で支えていくことが求められています。

地域の人びとの温かいまなざしと支えのなかで、子どもたちが輝きながら成長し、世代を越えたすべての住民を結び、未来に輝くまちを目指します。

計画の基本理念の実現に向けて、次の6つの基本目標を掲げ、総合的な施策の展開を図ります。

- (1) 健やかに産み育てる環境づくり
- (2) 子育て家庭を支援する仕組みづくり
- (3) 豊かな子ども時代を過ごすための社会づくり
- (4) 次代を担う心身ともにたくましい人づくり
- (5) 子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
- (6) 民公協働での子育て支援



- 「子育て」とは、子ども自身が自ら育つこと
- 「とも育ち」とは、子どもとともどもに育ちあうこと

編集・発行：下諏訪町教育こども課
平成22年3月